

学校生活に関する Q&A

小学校編

1 子どもが宿題をやらないとき、声を掛けた方がいいですか？

お子さんが気の進まないことや苦手なことをするときには、おうちの方が「一緒にやってみよう」と声をかけてみることも大切です。

声をかけ、見守ることで、子どもは苦手なことでも行動に移しやすくなります。そして、その行動を認めてほめることも大切です。



2 音読を聞くときは、どのようなところに気を付けたらいいですか？

文章を声に出し、聞くことができる音読は、子どもの読解力や語彙力などを高めてくれます。

お子さんの音読を聞く際は、上達したところを認め、ほめることが大切です。「登場人物はどんな気持ちだったの？」など音読した内容について質問することでより理解を深めることができます。



3 鉛筆を使うよさは何ですか？

小学生は筆圧の加減が難しく、シャープペンシルを使用した場合、芯が頻繁に折れてしまったり、文字の濃さが安定しないことがあります。

また、「はね・とめ・はらい」の表現は鉛筆の方が書きやすいとも言われており、小学校ではやわらかい鉛筆（B・2B）を推奨している場合が多いようです。



4 「ギガタブ」って何ですか？

1人で1台使えるように貸し出しているタブレットPCを、本市では親しみを込めて「ギガタブ」と呼んでいます。調べたことをまとめて発表したり、写真に撮って記録したりするなど、各教科の学習で活用しています。おうちに持ち帰り、宿題や家庭学習で使用することも増えてきています。



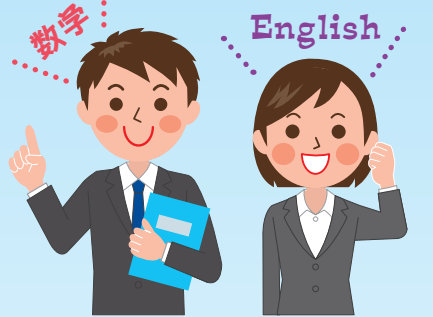
新たな環境での生活が始まるこの季節は、お子さんだけでなく、保護者の皆さんにも、「新しい学校生活や勉強はどうなるのだろう？」と気になることがあるかもしれません。小・中学校での生活に関するちょっとしたご質問にお答えします。

中学校編

5 教科担任制のよさは何ですか？

教科担任制は、より専門性の高い教員がさまざまな教材を活用して、質の高い授業を行うことができます。そのため、生徒の学習内容の理解度が上がり、学力向上につながります。

また、多くの教科担任と関わるができるため、いろいろな先生に悩み等を相談したりすることができます。



6 定期テストは年に何回ありますか？成績はどのように決まりますか？

定期テストは前期と後期それぞれ2回、合わせて年4回行われることが多いです。

成績は、日常の学習活動や定期テストの結果等を総合的に判断して決まります。集会や授業等で先生から説明がありますので、計画的に学習を進めましょう。

7 小学校で習う英語と中学校で習う英語の違いは何ですか？

小学校では、3・4学年から「聞くこと」「話すこと」を中心として英語に慣れ親しみ、5・6学年から文字を「読むこと」「書くこと」を加えた学習を行います。

中学校では「聞くこと」「話すこと」の活動が発展的になるだけでなく、英語で書かれた文章を読み取ったり、自分の考えや気持ちを書いたりする活動も行われます。



8 部活動って、みんな入部するものですか？

自分の興味関心に応じて参加したい部活動を自由に選択できます。部活動では自主的な活動が行われ、運動や文化に親しみ楽しむことはもちろんですが、クラスや授業とは異なる人間関係が広がります。

また、部活動に加入せず地域のクラブ・団体等に参加し、活動している生徒もいます。

本市の部活動加入率は、運動系部活動約60%、文化系部活動約21%です。

